

東京外国語大学若手研究者インターナショナル・
トレーニング・プログラム (TUFS-ITP)
研究計画報告会

日 時: 2008年6月26日(木) 10:40-12:10

場 所: 事務棟2階 中会議室

報告者: 幸加木 文 (博士後期課程)

1. 研究概要

■ 研究テーマ: 現代トルコにおける国家の正統性とイスラーム

State Legitimacy and Islam in Contemporary Turkey

- ◆ 問題の所在と問題意識: 国家の正統性の揺らぎ
「世俗主義(*Laiklik*)とイスラームの相克？」
- ◆ 世俗主義概念に関連する議論:
歴史的経緯および「イスラーム派」を中心にした現在の世俗主義
概念解釈の分析・検討
- ◆ トルコの政教関係とアイデンティティの行方:
「イスラーム派」の思想・言説および動態の解明

2. 派遣先概要

- 派遣先: イスタンブル・ビルギ大学 欧州連合研究所
(*Istanbul Bilgi Üniversitesi Avrupa Birliği Enstitüsü*)
- 受入研究者: アイハン・カヤ准教授
(*Assoc. Prof. Dr. Ayhan Kaya*)
社会学博士
専門分野: 欧州におけるトルコ系移民のアイデンティティ
EU加盟問題、トルコ国内の少数派問題 等
- 期間: 2008年8月5日～2009年3月31日
- 身分: 特別学生 (*Special/Guest Student*)

3. 留学期間中の研究計画

留学開始以後、以下の項目について随時取り組む予定である

1. 世俗主義観に関する文献調査: 「世俗派」および「イスラーム派」
 - ・ビルギ大学図書館
 - ・宗務庁・イスラーム研究センター (ISAM)
 - ・主要書店・古書店 など
2. 「イスラーム派」に関する聞き取り調査: 思想・言説および運動について
→ 次のスライド
3. トルコ人研究者・学生との意見交換

3. 2. 「イスラーム派」に関する聞き取り調査： 思想・言説および運動について

概ね以下の対象への聞き取り調査により、博士論文を構成する一次資料を広範に収集する

- イスラーム運動および関連団体の責任者、所属する人々等への聞き取り調査
 - ・ジェマート系団体および個人
 - ・タリーカ系団体および個人
 - ・その他イスラーム系諸団体 など
- 関連研究をしている研究者、イスラーム系知識人等との面談、情報収集、研究視座への示唆、助言

4. 派遣終了後の計画

派遣終了後は以下の項目について鋭意取り組む予定である

- 留学中の調査データの整理および分析
- 論文執筆および学術雑誌への投稿
- 学会、研究会、ワークショップ等における口頭発表
- 博士学位論文の執筆